

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年7月19日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年7月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【日本海溝津波対策防潮堤設置工事(1-4号機)における体調不良者の発生】 協力企業作業員が、日本海溝津波対策防潮堤設置工事(1-4号機)の作業後、休憩所への移動中に体調不良となり救急医療室を受診。 救急医療室において、熱中症と診断。 処置を受け本人の体調回復を確認後、救急医療室を退出。 今後、再発防止対策を検討。	G II	7月13日
2	【雑固体廃棄物焼却設備の冷却水循環ポンプ(A)の地絡警報発生について】 協力企業作業員が、雑固体廃棄物焼却設備の冷却水循環ポンプ(A)の運転時に、地絡警報発生を確認。 また、運転中の冷却水循環ポンプ(A)が自動停止し、予備機の冷却水循環ポンプ(B)が自動起動を確認。 現場を確認したところ、絶縁抵抗値に異常がみられたことから、冷却水循環ポンプ(A)本体にて地絡していると判断。 今後、当該ポンプの交換を実施予定。	G III	7月13日
3	【建屋内淡水化装置(A)設備次亜塩素酸ソーダタンク据え付け部からの漏えいについて】 当社運転員が、パトロール時に、停止中の建屋内淡水化装置(A)の還元剤である次亜塩素酸ソーダタンク堰内に約2リットルの水溜りを確認。 現場を確認したところ、タンク据え付け部より漏えいしていることを確認。なお、系統水でないことを確認済。 現在、既設淡水化装置が運転中であり、建屋内淡水化装置(B)も待機であることから淡水生成に影響なし。 今後、当該タンク内の薬液の抜き取り、およびタンクを交換予定。	G III	7月14日